

令和元年度 文化遺産調査 浮世絵展

初顔見世の役者絵 出展リスト

足立区立郷土博物館

会期：令和元年10月29日(火)～12月8日(日) 11月19日(火)から展示入替

※ 展示期間の表記 通：通期展示 前：11月17日(日)まで展示 後：11月19日(火)から展示

※ 出展資料は都合により変更になる場合があります。

No.	作品名	作者	制作年代	展示
序章 交流する雅人				
1	関屋里元追善集	千寿庵可丈 東耕舎米員 編	天保3(1832)年	通
2	書画帖「寸墨精妙」	森江資同 収集・調製	江戸時代後期～ 明治時代	通
3	名倉素朴翁還暦祝賀色紙帖		明治32(1899)年	通
4	俳諧短冊「我まつは」	九代目市川団十郎	明治時代	通
5	色紙「楓図」	初代市川左団次	明治時代	通
6	俳諧短冊「木へ鳥の」	三代目尾上菊次郎	大正4～8 (1915～19)年頃	通
7	俳諧短冊「松竹に」	六代目嵐小六	明治時代	通
8	俳諧短冊「世の中の」	名倉直賢	江戸時代後期	通
9	俳諧短冊「凧の」	名倉直賢	江戸時代後期	通
10	和歌短冊「今年また」	名倉直賢	江戸時代後期	通
11	句集『新神楽』	斎藤忍山 編 正風俳林社 刊	明治16(1883)年	通
12	名倉直賢像（複製）	(原本)昇亭北寿 画 正木健 讃	(原本) 江戸時代後期	通
13	名倉彌一像	作者不詳	明治時代	通
第1章 九代目市川団十郎と団菊左時代				
14	九代目市川団十郎襲名摺物「歌舞妓十八番道具尽」	九代目市川団十郎	明治7(1874)年	通
15	新古歌舞妓十八番之内 九代目市川団十郎の和唐内・児雷也・加藤清正・猩・五郎時宗・弁慶	豊原国周	明治時代	前
16	新古歌舞妓十八番九世団十郎 九代目市川団十郎の鳴神上人・向疵与三・荒獅子男之助・毛利九右衛門・児島備後三郎・幡随院長兵衛	豊原国周	明治時代	後
17	古今役割百面相（二） 初代坂東しうかのおしゆん、五代目坂東彦三郎の伝兵衛、初代河原崎権十郎の海老ざこの十、初代坂東亀蔵の夕浪刑部	三代歌川豊国	安政2(1855)年	前
18	初代河原崎権十郎の海老ざこの十、五代目坂東彦三郎のいやみ金之助、十三代市村羽左衛門のいやみ金子	三代歌川豊国	安政3(1856)年	後
19	初代河原崎権十郎の牛わか伝次、初代坂東村右衛門の番頭権九郎、初代中村歌女之丞の新造白玉	三代歌川豊国	安政5(1858)年	前
20	四代目尾上菊五郎のさくらひめ、初代河原崎権十郎のうしわか伝次、四代目市川小団次のせいげん	三代歌川豊国	安政5(1858)年	後

21	四代市川小団次の黒手組助六、初代河原崎権十郎の牛わか伝次	三代歌川豊国	安政5(1858)年	前
22	初代河原崎権十郎の景清	三代歌川豊国	文久元(1861)年	後
23	四代目尾上菊五郎の鞍馬山の僧正坊、初代河原崎権十郎の御曹司牛若丸、四代目市川小団次の木の葉天狗	三代歌川豊国	安政3(1856)年	前
24	六代目市川団蔵の髭の意休、初代河原崎権十郎の揚巻乃助六、三代目岩井兼三郎の三浦屋揚巻、四代目中村芝翫の白ざけうり、十三代市村羽左衛門のそば屋かつぎ	三代歌川豊国	文久2(1862)年	後
25	四代目市川小団次の清水清玄、二代目市川米十郎の奴淀平、初代河原崎権十郎の直宿之助、四代目尾上菊五郎の桜ひめ	三代歌川豊国	安政5(1858)年	前
26	十三代目市村羽左衛門の鮎汲娘おなみ、初代河原崎権十郎の太神楽びやり蔵、五代目坂東彦三郎の太神楽どん八、	三代歌川豊国	安政3(1856)年	後
27	歌舞妓十八番之内 勸進帳 初代市川左団次の富樫左衛門、九代目市川団十郎の武蔵坊弁慶、五代目市川小団次の亀井六郎、初代尾上梅五郎の伊勢三郎、初代坂東家橘の源義経	豊原国周	明治12(1879)年	通
28	九代目市川団十郎の俊寛、八代目岩井半四郎の海子千鳥	豊原国周	明治9(1876)年	通
29	三代目中村仲蔵の扇町大納言、五代目尾上菊五郎の三戸宰相、九代目市川団十郎の若山大納言、初代中村宗十郎の増平撰津守、初代市川左団次の増平井住守	豊原国周	明治12(1879)年	通
30	初代市川左団次の後藤七蔵、五代目尾上菊五郎の高橋おでん、九代目市川団十郎の肴屋清治	豊原国周	明治12(1879)年	通
31	未曾山雪中の場 九代目市川団十郎の笠原随翁軒、初代市川左団次の宮本無三四、三代目中村寿三郎の賤ノ女月の輪実ハ熊の精	豊原国周	明治21(1888)年	通
32	九代目市川団十郎の八重垣姫、四代目中村福助の勝より、四代目岩井松之助の濡衣	豊原国周	明治21(1888)年	通
33	奇術三幅対 九代目市川団十郎の児雷也、五代目尾上菊五郎の孔雀太郎、初代市川左団次の暁星五郎	豊原国周	明治10(1877)年頃	通
34	四代目中村芝翫の市原野鬼童丸、五代目坂東彦三郎の平井保昌、五代目尾上菊五郎の袴垂保輔	豊原国周	明治8(1875)年	通
35	五代目尾上菊五郎の船越主水、四代目中村芝翫の荒灘太郎、五代目坂東彦三郎の猿師浦作	豊原国周	明治9(1876)年	通
36	初代市川左団次の政尾局、八代目岩井半四郎の崑瀨川、三代目岩井小紫の玉笹、五代目尾上菊五郎の大月蔵人	豊原国周	明治12(1879)年	通
37	初代坂東家橘の主膳娘およし、初代中村宗十郎の浦井主膳、五代目尾上菊五郎の若徒曾平次、九代目市川團十郎の戸田大炊	豊原国周	明治12(1879)年	通
38	二刀額面捧宮本 初代市川左団次の宮本武三四	豊原国周	明治21(1888)年	通
39	靖国神社烏居前場 五代目尾上菊五郎の明石島蔵、初代市川左団次の松島千太	豊原国周	明治23(1890)年	通
40	蝙蝠六歌仙 四代目中村芝翫の僧正遍照・文屋康秀、五代目坂東彦三郎の在原業平、二代目沢村訥升の小野小町、四代目中村芝翫の喜撰法師・大友黒主	豊原国周	明治10(1877)年	通
41	初代坂東亀蔵の閉坊次郎吉、三代目沢村田之助の兼平娘から糸、五代目坂東彦三郎の冠者義高、二代目沢村訥升の京次郎祐とし、八代目片岡仁左衛門の舞鶴屋伝三	三代歌川豊国	文久2(1862)年	前
42	五代目坂東彦三郎の度九郎、二代目沢村訥升の謡婦麻衣	豊原国周	明治9(1876)年	後
第2章 江戸後期の役者絵				
43	明烏夢泡雪 八代目市川団十郎の春日屋時次郎、初代坂東しうかの山名屋浦里	三代歌川豊国	安政2(1855)年3月	前

44	清書七以露波 初代坂東しうかの浦里、八代目市川団十郎の時次郎	三代歌川豊国	安政3(1856)年6月	後
45	忠臣蔵銘々伝 八代目市川団十郎の矢間重太郎、初代坂東しうかの女房おりゑ	三代歌川豊国	安政2(1855)年3月	前
46	八代目市川団十郎の向疵ノ与三、初代坂東しうかの横ぐしお富	三代歌川豊国	嘉永6(1853)年4月	後
47	初代坂東しうかの白縫大尽実は若菜姫、某の若イ者ぐれ八	三代歌川豊国	嘉永6(1853)年4月	前
48	五節組 初代坂東しうかの重陽菊之助	三代歌川豊国	安政元(1854)年4月	後
49	初代坂東しうかの白ぬひ大尽、二代目嵐璃瑠の花野村の千種実は秋作	三代歌川豊国	嘉永6(1853)年4月	前
50	初代坂東しうかの長兵衛女房お時、初代坂東竹三郎の白井権八	三代歌川豊国	安政2(1855)年2月	後
51	初代沢村源之助の松王丸	歌川国貞(三代豊国)	文化8(1811)年7月	通
52	二代目関三十郎の碓井貞光	歌川国貞(三代豊国)	天保3(1832)年11月	前
53	二代目中村文五郎の石川悪右衛門	歌川国貞(三代豊国)	天保2(1831)年9月	後
54	東海道五十三次之内 赤坂 六代目松本幸四郎の沢井又五郎	三代歌川豊国	嘉永5(1853)年8月	通
55	東海道五十三次之内 土山 四代目市川小団次の阿漕平治	三代歌川豊国	嘉永5(1853)年5月	前
56	東海道五十三次之内 藤枝 三代目坂東三津五郎の熊谷直実	三代歌川豊国	嘉永5(1853)年5月	後
57	四代目市川小団次のきつね忠信、四代目尾上菊五郎の静御ぜん	三代歌川豊国	安政3(1856)年3月	前
58	四代目市川小団次の源九郎狐、初代坂東亀蔵の横川覚範	三代歌川豊国	安政3(1856)年3月	後
59	四代目尾上菊五郎の典侍局、五代目坂東彦三郎の源義経、四代目市川小団次の武蔵坊弁慶と渡海屋銀平、初代河原崎権十郎の入江丹蔵、某の相模五郎	三代歌川豊国	安政3(1856)年7月	通
60	四代目市川小団次のいがみの権太・平知盛	三代歌川豊国	安政3(1856)年8月	前
61	東都鼯肩競 四 五代目市川海老蔵の土佐将監、四代目市川小団次の浮世又平	三代歌川豊国	嘉永5(1853)年7月	後
62	八犬伝 犬のさうしの内 三代目岩井衆三郎の墓六娘浜路	二代歌川国貞	嘉永5(1853)年9月	前
63	五節組 三代目岩井衆三郎のあら玉年吉	三代歌川豊国	安政元(1854)年4月	後
64	豊国漫画図会 三代目岩井衆三郎の青柳春之助	三代歌川豊国	安政4(1857)年5月	前
65	初代中村福助の春日屋時次郎、三代目岩井衆三郎の山名屋浦里	三代歌川豊国	安政4(1857)年5月	後
66	五代目坂東彦三郎の舟頭金五郎、四代目尾上菊五郎の芸者ノ小三、初代坂東亀蔵の古手屋甚三	三代歌川豊国	安政3(1856)年5月	前
67	某の召仕お初、初代坂東竹三郎の白井権八、三代目嵐吉三郎の下部八内	三代歌川豊国	安政2(1855)年2月	後
68	八代目片岡仁左衛門の来国とし、六代目市川団蔵の五郎兵衛正宗、二代目尾上和市の倅団九郎	三代歌川豊国	安政5(1858)年2月	通
69	六代目市川団蔵の経久娘照世、初代中村福助の猿曳、三代目市川九蔵の奴久呂平	三代歌川豊国	安政6(1859)年4月	前
70	八代目片岡仁左衛門の古手屋八郎兵衛、四代目尾上菊五郎の丹波やおまつ	三代歌川豊国	安政6(1859)年5月	後

71	梅曆 見立八勝人 四 三代目市川市蔵の男達鳳巾の播蔵	三代歌川豊国	安政6(1859)年11月	前
72	八代目片岡仁左衛門の佐野源左衛門	三代歌川豊国	江戸時代後期	後
73	初代中村福助の八百屋半兵衛、初代嵐冠五郎の吉田勘吾、某(中村勘太郎か)の吉田かん太	二代歌川国貞	安政4(1857)年4月	前
74	初代中村延雀の桃井若狭之助、初代森田是好の加古川本蔵	三代歌川豊国	安政4(1857)年4月	後
75	死絵 五代目市川海老蔵	三代歌川豊国	安政6(1859)年3月	通
76	死絵 八代目片岡仁左衛門	歌川芳艶	文久2(1862)年	前
77	傾城逢ふ奇の不時 四段目 八代目市川団十郎の曾我十郎祐成、初代市川猿蔵の曾我五郎時致、五代目市川海老蔵の曾我ノ満江	三代歌川豊国	安政2(1855)年9月	後
78	死絵 初代坂東しうか	歌川派絵師(無款)	安政2(1855)年3月	前
79	死絵 初代坂東しうか	歌川派絵師(無款)	安政2(1855)年3月	後
80	死絵 初代坂東しうか	歌川派絵師(無款)	安政2(1855)年3月	前
81	死絵 某(初代坂東しうか か)	三代歌川豊国	安政元(1854)年5月	後
82	八代目市川団十郎の春日屋時次郎、初代坂東しうかの山名屋浦里	三代歌川豊国	安政2(1855)年3月	通
83	花揃之内 法の花 八代目市川団十郎の時次郎、初代坂東しうかの浦里	三代歌川豊国	安政2(1855)年5月	通
84	初代坂東しうかのげいしゃ小糸、八代目市川団十郎のおまつり佐七	三代歌川豊国	安政3(1856)年6月	通
85	四代目嵐徳三郎・初代嵐和歌太夫襲名祝賀摺物 獅子図	蝶翁 画 三代目嵐璃寛ら 句	万延元(1860)年頃	通
86	二代目片岡土之助襲名口上	作者不詳	明治28(1895)年	通
87	三代目嵐璃寛のあげ巻、嵐和三郎の禿小てう、嵐璃寿の禿さんや	長谷川宗広	安政4(1857)年	前
88	初代嵐和三郎のさと八	長谷川宗広	安政4(1857)年	前
89	某の後室真柴、三代目嵐璃寛の猪助女房お露、二代目嵐璃瑠の鷺津六郎、初代坂東竹三郎の鷺津七郎	三代歌川豊国	嘉永6(1853)年4月	前
90	三代目嵐璃寛の羽黒山桐太郎	一養亭芳瀧	安政5(1858)年	後
91	傲善雪菊水 五行の内 土 初代嵐鱗子の大力坊覚伝	一養亭芳瀧	文久元(1861)年	後
92	傲善雪菊水 初代嵐鱗子の熊谷三郎兵衛	一養亭芳瀧	文久元(1861)年	後